

2024 年 6 月 14 日

各 位

マークテック株式会社
代表取締役社長 西本 圭吾

東北化工株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は親会社であるアルコニックス株式会社（本社：東京都千代田区、以下「アルコニックス」という。）による“グループの装置材料セグメントにおけるシナジーの促進と経営管理体制強化”を目的としたグループ企業再編の一環*として、アルコニックスの 100%連結子会社である東北化工株式会社（本社：栃木県那須烏山市、以下「東北化工」という。）の全株式を取得し、当社の 100%連結子会社とすることを決定いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

* アルコニックスによる 2024 年 5 月 28 日付『連結子会社間における合併及び異動に関するお知らせ』にて PR 開示の通り。

1. 株式取得（子会社化）による相互効果

東北化工は、「環境に配慮した事業活動を行い、安全で快適な社会を実現する化学素材、電気部品を提供します」を企業理念とし、1961 年の創立以来、植物「カシュー」から得られるオイルをブレーキ用摩擦材（ブレーキライニング、ブレーキパッド）に用いられる樹脂パーティクルに加工してお届けし、自動車等の安全と安心の確保に取り組んでおります。その間、常に研究を重ね独自のテクノロジーを築き、安全性、耐熱性及び耐摩耗性の向上に威力を発揮するブレーキ用カシューパーティクルのトップメーカーとして高い評価を頂くまでになりました。また、近年では長年にわたって蓄積してきた有機化学、材料ならびに粉体技術をコアテクノロジーとして、「安全と環境」の確保に役立つ電波暗室用に使用される電波吸収体などの製品を手がけ、幅広く事業を進めています。

一方、当社は、「品質保証を通して社会に安全と安心を提供する」を企業理念とし、「品質保証を科学するモノづくり集団」として、日本・アジアから世界に通用するブランドをつくり、世の中を永続的に良い方向に変革して行く」を 30 年経営ビジョンとして掲げております。また、Big Company ではなく、Good Company によるエコシステム（MARKTEC Business System、以下 MBS という）

【注 1】を構築するという戦略的なビジネスモデルに取り組んでおります。具体的には、「④次世代を担う CEO 人材育成×⑤品質保証に関連するキラリと光る技術力&収益力を有する、後継者不在のため事業存続が危ぶまれる中小製造企業の事業承継＝Good Company によるエコシステム(MBS)」というユニークな事業構想の実現を目指しております。当社グループが少しでも多くの「技術力ある中小製造企業の技術」を承継することで、技術力があるにも拘わらず、後継者不在のため事業存続が危ぶまれる中小製造企業の雇用を確保しつつ、独自の技術、事業を継承し、後世に残すことが可能になると考えております。

【注 1】MBS のパーパスは、「品質保証と社会課題解決を前進させるクリエイティビティの源となるこ

と」である。MBSの4つの柱は、①Fundamental、②Lean(Kaizen)、③Growth、④Leadershipである。
ご参考：<https://www.marktec.co.jp/company/tabid/507/Default.aspx>

当社グループは、前述の企業理念を掲げ1955年の創業以来、長年に渡りお客様に様々な製品・サービスを提供して参りました。そして近年は、主力である非破壊検査事業、印字・マーキング事業及び風・環境試験事業に次ぐ新たな事業の柱として、自社工場を持たない化学系のファブレスメーカー等からのニーズに応える化学製品のOEM・ODMの「受託生産サービス」、並びにX線CTスキャン装置による検査や粉体物性測定装置による測定等をより身近にご利用いただける「受託検査サービス」を成長事業の新たな柱に掲げ、前述の品質保証に関連する技術継承事業と合わせて、更なる事業領域の拡大に向けて鋭意取り組んでおります。

当社は、東北化工の子会社化により、生産活動（モノづくり）と営業活動の両面で次のような相互効果があると考えております。

まず、生産活動（モノづくり）においては、東北化工のコア事業であるカシューパーティクル、カシュー液体製品の製造と当社事業拡大が見込まれる化学製品のOEM・ODMの「受託生産サービス」等を掛け合わせることで、東北化工においては事業多角化と生産設備の稼働率向上が、当社グループにおいては事業拡大と生産性向上がそれぞれ見込まれます。製品開発面でも東北化工が有する多彩な生産技術（化学合成、粉末加工、分散加工）と当社の磁粉探傷剤の粉末加工技術との技術連携により、製品機能面での新たな付加価値創造も期待されます。また、営業活動においては、当社が有する営業ネットワークを東北化工が最大限活用することにより、主力事業である「カシューパーティクル事業」及び「電波吸収体事業」の更なる販路拡大が見込まれます。

なお、当社並びに東北化工は、本企業再編以降もアルコニックスグループであることに変わりはなく、アルコニックスの経営指針を踏襲していく考えに変更はございません。

当社は、来年3月に創立70周年を迎えますが、主にM&Aを中心とした、資本提携、業務提携、技術提携等による「品質保証に関連する技術力ある中小製造企業の受け皿＝Big Companyではなく、Good Companyによるエコシステム（MBS）」を構築するという戦略的なビジネスモデルを積極的に展開し、SDG's 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、SDG's 11「住み続けられるまちづくりを」及びSDG's 12「つくる責任 つかう責任：持続可能な消費と生産パターンを確保する」【注2】という社会課題を解決する一助となることで、100年さらにそれ以上続く「品質保証を科学するモノづくり集団」として社会に安全と安心を提供する企業であり続けてまいりたいと存じます。

【注2】成長にあった持続的消費を続けるためにReduce（削減）、Reuse（再利用）、Recycle（再生）するサーキュレーションエコノミー（循環型経済）を重視する。

2. 東北化工の概要（2024 年 6 月 11 日現在）

(1) 名 称	東北化工株式会社
(2) 所 在 地	栃木県那須烏山市
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 西本 圭吾
(4) 事 業 内 容	カシュー樹脂応用化学品、電波吸収体等の製造・販売
(5) 設 立 年 月	1961 年 10 月
(6) 資 本 金	125 百万円
(7) ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.tci-web.co.jp/

3. 新経営体制（2024 年 6 月 11 日現在）

代表取締役社長	西本 圭吾（新任）	当社代表取締役社長
常務取締役	葭内 暁	
取締役	井上 宏朗	アルコニックス株式会社常務執行役員
取締役	佐野 嘉高（新任）	当社常務執行役員
取締役	市川 大介（新任）	当社常務執行役員
取締役	石田 高久（新任）	当社常務執行役員
監査役	野崎 浩史（新任）	当社執行役員

4. スケジュール

2024 年 6 月 11 日（火）	東北化工定時株主総会および取締役会にて、役員選任
2024 年 7 月 2 日（火）	株式交換により東北化工を当社の 100%子会社化

5. 問い合わせ先

マークテック株式会社
 管理本部
 TEL. (03)3762-4451

以 上